

僕の気持ちは複雑だった

二月十七日 月曜日

時がたたなきやだめなんだ

朝、起きるのが 少し遅れた。

「七時七分、中書島の急行に間に合うかなあ。」
と思いつながら、急いで、服を着る。

歯をみがくのは時間の都合上やめた。

顔は、手拭いを水で濡らして、
顔を拭き取るだけ。

すぐ、朝めしを食べ、家を飛び出し、走って駅へ。

きのう、おとついで、先おとついで、三日間の連休で、
「久しぶり」と言う感じがする。三条京阪まで胸わくわく、
今日こそ彼女に会えるかもと、
期待したが、しかし、いなかった。代数と英語のテストがあるはずであったが
あいにく、中田先生は風邪でお休み。
幾何も抜けて、四時間になり、皆、ニコニコ。英語構文は、テストはあったにはあったが、
山がはずれたて、話法、仮定法、前置詞の復習テスト。
ジャック・アンド・ベティでなかった。
しかし、うまく出来たつもり。